

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 北極圏に位置するグリーンランドのような地域において、地球温暖化によって引き起こされている環境の変化と、その主な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- 工場から排出された硫黄酸化物が原因で酸性雨が降り、広大な森林が立ち枯れる被害が出ている。
 - 窒素酸化物の影響でオゾン層が破壊され、強い紫外線が地表に届くことで生態系に悪影響が出ている。
 - 氷河が溶けて海面が上昇するなどの被害が懸念されており、二酸化炭素の排出抑制が課題となっている。
 - 過度な放牧や森林伐採が原因で砂漠化が急速に進行し、居住できる土地が大幅に減少している。
- 問2 オセアニア地域に位置するオーストラリアとニュージーランドは、ともにイギリスの植民地となった歴史を持ちますが、それぞれ異なる先住民族が暮らしています。オーストラリア大陸において、独自の文化を維持しながら、土地の所有権や社会的地位の向上を求めて運動を続けてきた先住民族として正しいものを選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- アボリジニ
 - サーミ
 - インディアン
 - マオリ
- 問3 南アメリカのチリにおいて、1993年の輸出統計では総額の37.7%を占めていたものの、2017年には50.5%にまでシェアが拡大し、現在では輸出全体の約半分を占めている主要な鉱産資源を選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- 鉄鉱石
 - 銅
 - 原油
 - 石灰
- 問4 2020年の経済統計において、国内総生産（GDP）の総額が約1兆4000億ドル、1人あたりの国内総生産が約6800ドルを記録したブラジルの経済状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- 1人あたりの国内総生産が非常に高く、欧米の先進国と同等の経済水準に達している。
 - 国内総生産の総額は大きいものの、1人あたりの国内総生産はアフリカ諸国の平均を下回っている。
 - 南アメリカでは中程度の経済規模であり、隣国のアルゼンチンやチリよりも国内総生産の総額は低い。
 - 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。
- 問5 ボリビアのサンタクルス付近などの熱帯地域で見られる、森林を焼き払って農地を確保する「焼畑農業」の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- 焼いた灰を肥料にして作物を栽培するが、数年で土地がやせるため移動が必要になる。
 - 先進国の資本と技術を取り入れ、広大な農地でコーヒーやカカオを単一栽培する。
 - 家畜を連れて水や草を求めながら広い範囲を移動し、乳や肉を得る生活を行う。
 - 河川から水を引くための灌漑施設を整え、砂漠地帯で小麦や綿花を栽培する。
- 問6 オーストラリアやフィジーの国旗には、共通して左上の部分にイギリスの国旗（ユニオンジャック）がデザインされています。このような国旗の意匠が採用されている歴史的な背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- イギリスを中心に結成されたヨーロッパ連合（EU）の加盟国であることを示すため。
 - かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりがあるため。
 - イギリスとの独立戦争に勝利したことを記念し、友好の証として取り入れたため。
 - 19世紀以降、イギリスとの貿易の拡大を目的とした経済同盟を結んだため。
- 問7 南半球に位置するブラジルと南アフリカ共和国の産業的特徴を説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- ブラジルは日本への鉄鉱石輸出の約6割を占める最大の相手国であり、南アフリカ共和国はとうもろこしの生産において世界一の規模を持つ。
 - ブラジルは面積約769万km²の国土を活かして鉄鉱石を日本へ最も多く輸出し、南アフリカ共和国はとうもろこしの最大の輸入先となっている。
 - ブラジルは人口約2億人を抱える農業大国としてとうもろこしなどを輸出し、南アフリカ共和国は鉄鉱石などの鉱物資源を日本へ輸出している。
 - ブラジルは人口約5,000万人の国として工業製品を主に輸出し、南アフリカ共和国は面積約278万km²の国土で小麦を生産している。
- 問8 地域の自然環境や生態系を壊さないように配慮し、その魅力を観光資源として活用しながら、参加者が学びや体験を得る持続可能な観光の形態を何といいますか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- バリアフリーツーリズム
 - エコツーリズム
 - アグリツーリズム
 - グリーンツーリズム
- 問9 日本では、一年を通じて農産物を安定して消費者に届けるために、国外からの輸入を活用しています。特に、日本とは季節が逆になる南半球に位置するという特徴を活かして、国内産の出荷が少ない時期に多くの農産物を日本へ輸出している国として、最も適切な国名を答えなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- 中華人民共和国
 - フランス
 - チリ
 - アメリカ合衆国
- 問10 バイオ燃料の利用を拡大することによる利点と、発生しうる課題の組み合わせとして、最も適切な説明はどれかを選びなさい。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- 地下資源を使い切らないという利点がある一方、燃焼時に大量の硫黄酸化物を排出するため深刻な大気汚染を引き起こす。
 - 天候に関わらず安定して発電できる利点がある一方、原料の収穫に多大な電力を消費するため、エネルギー効率が極めて低い。
 - 安価に大量生産できる利点がある一方、原料となる植物が特定の乾燥地域でしか育たないため、生産できる国が限定される。
 - 二酸化炭素の排出を実質的に抑えられる利点がある一方、穀物が燃料用に回されることで食料価格が高騰する恐れがある。
- 問11 ブラジルなどの国々が属する南アメリカ大陸の地理的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- 世界で最も面積が大きい大陸であり、東側は直接ヨーロッパに接している。
 - 地球の南半球に位置するため、日本とは季節がほぼ反対になる。
 - 北半球に位置する広大な大陸であり、北側でユーラシア大陸と接している。
 - インドのデリーから見て北東の角に位置し、寒冷な気候の国々で構成される。
- 問12 ブラジルなど、かつてコーヒー豆などの特定の農産物の輸出に頼り切っていた国々が、近年、工業化を積極的に推進している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- 一次産品は先進国からの需要が全くないため、国内消費を増やす必要があるから
 - 全ての一次産品の資源が枯渇し、農作物が一切収穫できない状況になったから
 - 特定の産品に依存していると、国際価格の変動や気象災害によって国の財政が不安定になるから
 - 加工貿易を行うことで、原材料を安く輸出して高価な製品を輸入する仕組みを作るため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 氷河が溶けて海面が上昇するなどの被害が懸念されており、二酸化炭素の排出抑制が課題となっている。	地球全体の気温が上昇する地球温暖化は、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が主な原因です。この影響を特に強く受けているのが北極圏に近いグリーンランドなどの地域で、氷河や氷床が溶け出すことで、海面の上昇や周辺の生態系の破壊が深刻な問題となっています。硫酸化物などは酸性雨の原因であり、温暖化とは別の環境問題として区別する必要があります。
問2	答え 1 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民はアボリジニです。選択肢にあるマオリはニュージーランドの先住民であり、インディアン（ネイティブ・アメリカン）は北アメリカ大陸、サーミは北ヨーロッパの先住民を指します。オーストラリアでは、アボリジニの聖地であるウルル（エアーズロック）の返還や、過去の同化政策に対する政府の謝罪など、彼らの独自の歴史と文化を再評価する取り組みが続けられています。
問3	答え 2 銅	チリは世界最大の銅の産出・輸出国として知られています。統計を見ると、1993年から2017年にかけて輸出総額に占める銅の割合は37.7%から50.5%へと大きく上昇しており、この国にとって極めて重要な外貨獲得源であることがわかります。こうした特定の資源や農産物の輸出に頼る経済構造は、国際価格の変動による影響を受けやすいという特徴があります。
問4	答え 4 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。	ブラジルは南アメリカで突出したGDP総額を誇る経済大国です。統計によれば、1人あたりの国内総生産についても、同じBRICSの一員であるインドや、アフリカの発展途上国であるコートジボワールといった国々と比較して高い水準を維持しており、新興国の中でも安定した経済基盤を築いていることがわかります。
問5	答え 1 焼いた灰を肥料にして作物を栽培するが、数年で土地がやせるため移動が必要になる。	焼畑農業の最大の特徴は、人為的な化学肥料に頼らず、自然の樹木を燃やした灰のみを肥料とすることにあります。この方法は地力の消耗が激しく、短期間で耕作ができなくなるため、常に新しい土地を求めて移動し続けなければなりません。これに対し、特定の作物を大規模に育てるのはプランテーション、乾燥地での農業はオアシス農業、家畜とともに移動するのは遊牧であり、それぞれ異なる環境適応の形態です。
問6	答え 2 かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりがあるため。	オセアニア州のオーストラリアやフィジーは、かつてイギリスの植民地として支配を受けていた歴史を持っています。国旗の左上（カントン部分）に配置されたユニオンジャックは、その歴史的な背景を象徴するものです。これらの国々は独立後も、イギリス連邦（コモンウェルス）の一員としてイギリスと伝統的な深い関わりを維持しています。
問7	答え 3 ブラジルは人口約2億人を抱える農業大国としてとうもろこしなどを輸出し、南アフリカ共和国は鉄鉱石などの鉱物資源を日本へ輸出している。	ブラジルは2億人規模の人口を背景とした労働力や広大な農地を持ち、日本へのとうもろこし輸出で重要な地位を占めています。一方、南アフリカ共和国は豊富な地下資源を背景に、日本に対して鉄鉱石などの鉱物資源を供給する重要なパートナーとなっています。
問8	答え 2 エコツーリズム	地域の固有の自然環境（生態系）を守りながら、それを観光の対象として活用する仕組みを指します。農山漁村で農作業などを体験するグリーンツーリズムやアグリツーリズムに対し、自然環境の保全と教育的な体験に重点を置いているのが特徴です。
問9	答え 3 チリ	チリは南アメリカ大陸に位置する南半球の国であり、北半球にある日本とは季節が反対になります。この季節の差を利用して、ブドウやキウイフルーツなどの果実を中心に、日本国内での生産が少なくなる時期を補う「季節補完」の役割を担う主要な輸入相手国となっています。
問10	答え 4 二酸化炭素の排出を実質的に抑えられる利点がある一方、穀物が燃料用に回されることで食料価格が高騰する恐れがある。	バイオ燃料は、燃焼時に出る二酸化炭素が植物の成長時に吸収したものであるとみなされるため、地球温暖化対策として有効です。しかし、本来は食料や家畜の飼料となるトウモロコシなどが燃料生産に転用されることで、供給不足を招き、国際的な食料価格を押し上げる原因になるという「食料との競合」が大きな課題となっています。
問11	答え 2 地球の南半球に位置するため、日本とは季節がほぼ反対になる。	南アメリカ大陸は地球の赤道より南側、すなわち南半球に大部分が位置しています。そのため、北半球に位置する日本などの国々とは季節のサイクルが逆になり、日本が夏の時期に南アメリカ大陸の多くの地域では冬を迎えることになります。
問12	答え 3 特定の産品に依存していると、国際価格の変動や気象災害によって国の財政が不安定になるから	特定の一次産品に頼る経済構造は、豊作・不作といった天候の影響や、国際的な市場価格の暴落によって、国家全体の収入が激しく増減するというリスクを抱えています。この脆弱性を克服し、安定した経済成長を実現するために、多くの国が工業化による経済の多角化（多様な製品を輸出できるようにすること）を図っています。